

平成24年度の決算についてお知らせします。

まいづる家の家計簿

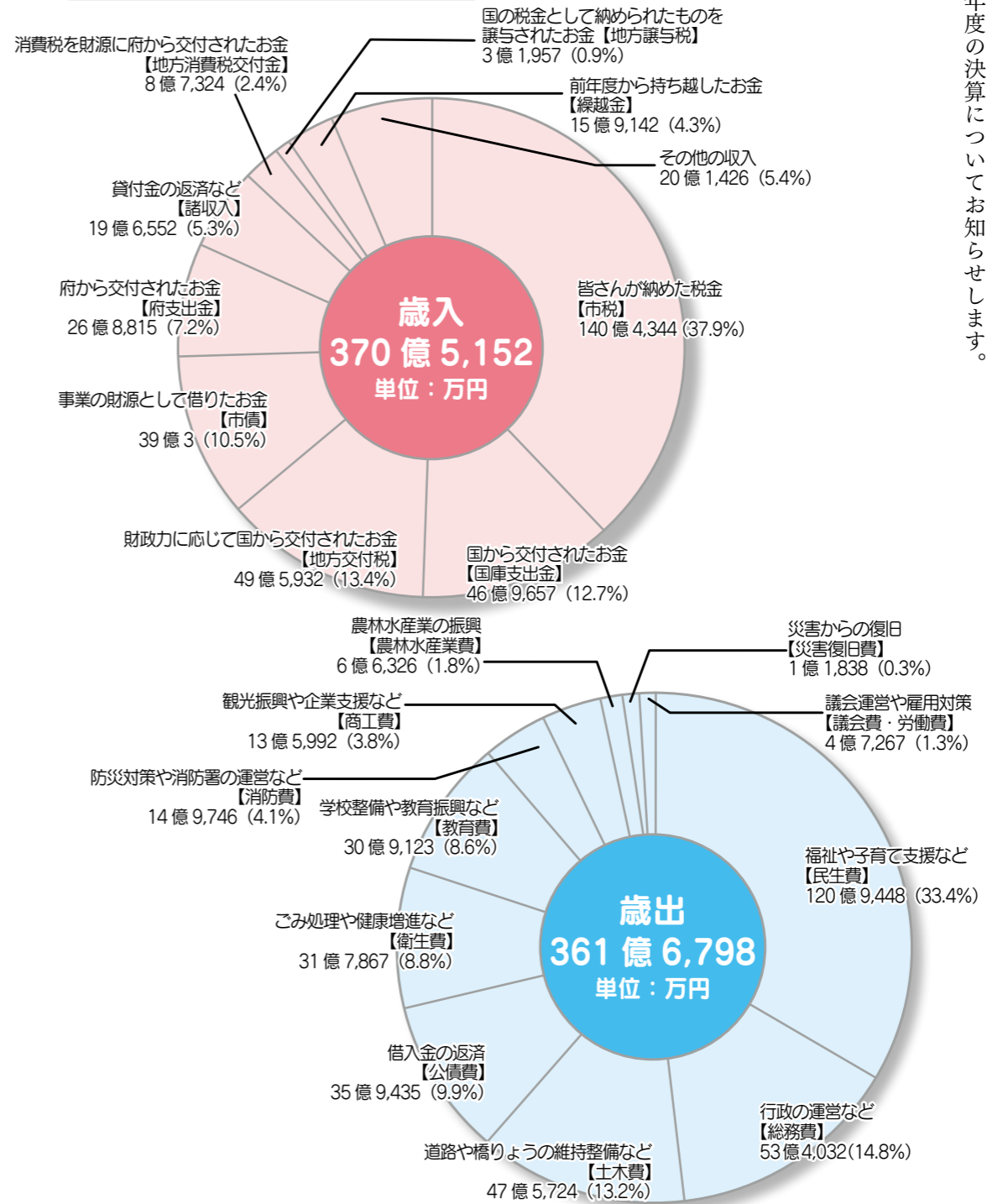
一般会計の決算を家計の収支に例えてみました。

収入	24年度	23年度
給料 (市税、使用料、手数料など)	171億円 (46.1%)	173億円 (47.4%)
親からの仕送り (地方交付税、地方譲与税、国・府支出金)	140億円 (37.7%)	152億円 (41.6%)
貯金取り崩し (繰入金、繰越金)	21億円 (5.7%)	9億円 (2.5%)
ローン借入れ (市債)	39億円 (10.5%)	31億円 (8.5%)
合計	371億円	365億円

※ () 内の数値は構成比率

支出	24年度	23年度
給料を得るために働く人の経費 (人件費)	63億円 (17.4%)	62億円 (17.8%)
医療費、教育費 (扶助費)	77億円 (21.3%)	76億円 (21.8%)
ローンの返済 (公債費)	36億円 (10.0%)	37億円 (10.6%)
光熱水費、通信費、日用品費 (物件費)	40億円 (11.0%)	42億円 (12.0%)
お小遣い、保険料、町内会費 (補助費)	26億円 (7.2%)	25億円 (7.1%)
家の増改築・修繕、家具の買替 (普通建設事業費など)	56億円 (15.5%)	60億円 (17.2%)
子どもへの仕送り (出資金、貸付金、繰出金)	49億円 (13.5%)	45億円 (12.9%)
貯金 (積立金)	15億円 (4.1%)	2億円 (0.6%)
合計	362億円	349億円

一般会計の歳入・歳出



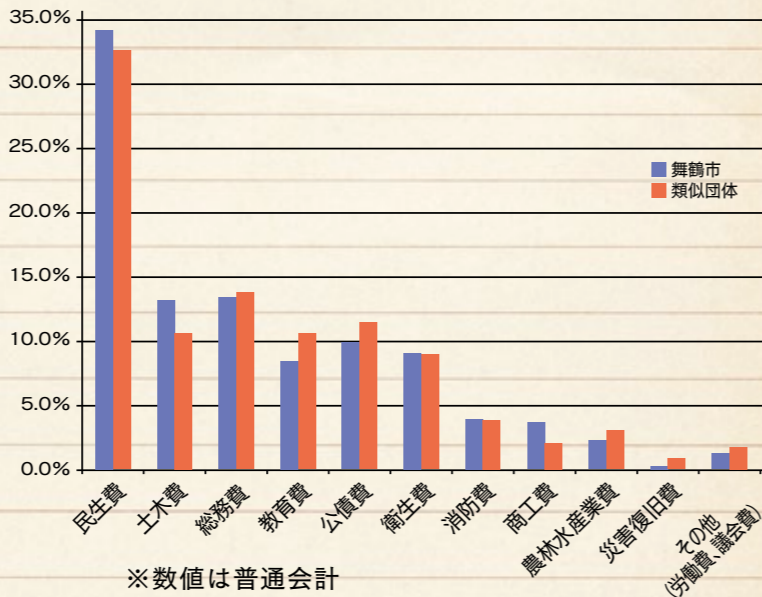
まいづる家の支出の特徴

舞鶴市と人口や産業構造などが類似した全国の都市（類似団体）との支出状況を比べてみましょう。



支出総額に対する目的別事業費の割合をグラフにしました。舞鶴市では類似団体に比べて民生費や土木費、商工費などの支出の比率が高くなっています。これは子育て支援医療の拡大や高齢者福祉の充実、市営住宅の建て替えや幹線道路整備の推進を進めるとともに、中小企業への融資制度の拡充や京都舞鶴港日本海拠点機能を強化したことによるものです。

また、教育費の比率が低くなっているのは、小学校給食の委託化やスポーツ施設の指定管理の実施などにより経費が節減されたことなどによります。



一般会計の概要

一般会計は、行政運営の基本となる経費の経理を行う会計です。平成24年度の一般会計の決算は、歳入が370億5,152万円（前年度から5億8,989万円の増額）、歳出が361億6,798万円の増額、25年度に持ち越して実施する事業の財源（3億4,686万円）を除いた黒字額（実質収支）は5億3,668万円となりました。

まいづる家の家計

約8万7,000人家族のまいづる家の家計は、昨年度より収入、支出ともに総額が増えていますが、光熱水費、通信費、日用品費（物件費）や家の増改築・修繕、家具の買替（普通建設事業費）を減らして節約しているものの、医療費・教育費（扶助費）などは引き続き増える見込みで、お小遣い・保険料・町内会費（補助費）や子どもへの仕送り（出資金・貸付金・繰出金）も増えています。景気が悪く中で給料の主な項目である市税が減少し、まいづる家にとって厳しい状況が続いています。